

「齊」の解釈について

【おおよその解釈】

「乃捜^{たぐひ}逡索^{えら}耦、皋伊之徒、冠倫魁能。函甘棠之惠、挾東征之意、相與齊^と虞陽靈之宮」（乃ち^{たぐひ}逡^{えら}を^{えら}捜^{えら}び^{えら}偶^{えら}を^{えら}素^{えら}め、皋伊の

郎 潔

徒、倫に冠たり能に魁たり。甘棠の恵みを函^すみ、東征の意を挾む。相與に陽靈の宮に齊す。そこで天子は皋陶、伊尹のような、比べる物のない優れた才能を持つ大臣を仲間として捜し求める。彼らは「甘棠」の詩に賛美された召公のように、仁慈の心を持ち、東征した周公のように国を安定させようとする意志を持っている。その彼らと一緒に天子は天を祭る宮に登る。

このうち「相與齊虞陽靈之宮」について解釈する。

【校勘】

なし

【旧注旧説の整理】

- (1) 顔師古注：「齊、同也、同集於此也（齊は、同である。一同ともにここに集まるの意である。）」
- (2) 李善注：「韓康伯周易注曰、洗心曰齊（韓康伯の『周易』注に曰く…心を洗うことを齊という）」
- (3) 王先謙注：「漢舊儀、皇帝祭天、居雲陽宮、齋百日。善注是。（漢舊儀）によれば、皇帝が天を祭る際、雲陽宮に住んで、百日にわたって齋戒する。李善の注が正しい。」
- (4) Knechtges はこの部分を“together to purify themselves in the palace of the yang spirit（一緒に陽神の宮殿で心身を清める）”と訳している。「齊」を purity と訳するのは李善、王先謙の注にならったのだろう。

【問題提起】

「齊」について意見が分かれる。顔師古は「同」つまり「一同に会す」と解釈したが、李善以降は「齋戒」とする説が最も多く支持されている。「齊」がもしも「同」の意味であれば、前文の「相與」と重複してしまう上、「齊」と「齋」

の通用例が古籍に多く見られるため、「同」より「齋」の説がより適切であると思われる。しかし、この「齊虚陽靈之宮」と後文の「集虚禮神之囿」、「登虚領祇之堂」と文の構造が極めて似ていることから、この「齊」は「躋」（もしくは「躋」と通用し、「集」、「登」と同様に「登る、参る」という意味であると解釈すべきではないだろうか。「齊」は「躋」として使われる用例も少なくない。以下いくつかを挙げる。

【用例・考察】

【用例①】『詩・商頌・長發』に「湯降不遲、聖敬日躋（湯の降ること遅からず、聖敬日に躋る）」とあるが、『孔子閒居』に「昔在『詩』曰：湯降不遲、聖敬日齊（昔『詩』に在りて曰く：湯の降ること遅からず、聖敬日に齊る）」とある。

注釈によれば、「湯の誕生は遅くない（その誕生は時宜を得ていたとの意味）、この方の賢明と謙恭は日一日と増していく。」という意味になる。

【用例②】『禮記・樂記』に「地氣上齊、天氣下降（地氣上齊し、天氣下降す。）」とある。鄭玄の注に「齊、讀為躋。躋、升也。（齊、躋と讀む。躋は升である。）」とある。

注釈によれば、「地の気が上に登り、天の気が下に降る」という意味になる。

【用例③】『荀子・禮論』に「祭、齊大羹、而飽庶羞、貴本而親用也。（祭には大羹を齊し、而して庶羞に飽かすは、本を貴びて用に親しむなり。）」とある。俞樾『諸子平議・荀子三』に「齊、當為躋……躋大羹者、升大羹也。（齊は躋とするべきである。「躋大羹」は、大羹を差し上げることである。）」とある。

注釈によれば、「祭には大羹をまず捧げてから種々の供物を十分に上たてまるのであるが、これらは飲食の根本を貴ぶと

共に実用にも近づけたものである。」⁽¹⁾ という意味になる。

【結論】

「躋」字について、白川静氏の『字通』にはこう解釈する…「躋、躋、躋は同声。躋、躋は陸。聖域に入ることを躋という。躋はおしおとす。躋と对待の義をなすことからいえば、聖域への侵入者を排除する意であろう。」⁽²⁾ 「躋」、「躋」、「躋」この三つの文字はともに「齊」声の字である。その上、意味も高所や聖所と関わりがあり、同源字であることがわかる。『字通』は、「齊」字を婦人が祭祀で奉仕する意味であると解釈する。では、なぜ登るの意味の「躋」、「躋」が「齊」の字義を受け継いでいるのだろうか。それは古代の祭祀の場所が高いところにあるからである。祭祀を行うには、まず登らなければならない。『詩経・豳風・七月』の末尾の「躋彼公堂、稱彼兕觥、萬壽無疆（彼の公堂に躋り、彼の兕觥を稱げ、萬壽無疆なし。）」の句からは、人々が一緒に登り祈禱する様子が伺える。これらの用例に拠り、この「齊」字を「躋」と読み、「相與齊虜陽靈之宮」を「賢臣たちと一緒に天を祭る宮に登る」とする解釈を提案したい。

注

- (1) 藤井専英氏『新釈漢文大系・荀子』（明治書院・昭和四十一年十月）を参照した。
 (2) 白川静氏『字通』（平凡社・一九九六年十月）